

ほけんだより



厳しい寒さもようやく終わりが近づいてきたようで、日中の陽気に少しづつ春の気配を感じるようになりました。

3月の別名は『弥生(やよい)』。「弥」には「いよいよ」という意味、「生」には「生い茂る」という意味があり、合わせて「草木がいよいよ茂る月」という意味があるそうです。そして、3月5日は『啓蟄(けいちつ)』。啓は「ひらく」、蟄(ちつ)は「土中で冬ごもりしている虫」の意味で、大地が暖まり冬眠していた虫が、春の訪れを感じ、穴から出てくる頃を示しています。21日には『春分(しゅんぶん)』を迎える、夏至に向かって昼の時間が夜より長くなっています。新しい生活へ向けて、心踊る時期ですが、寒暖差が激しく、花粉症等のアレルギー症状が強くなる時期でもあります。無理せず体調に気を付けて過ごしましょう。

1年間子ども達が健康に過ごせるよう、保護者の皆様には色々とご協力を頂きましてありがとうございました。子ども達は、この1年で身体も心も一回り大きくなり、色々な事が出来るようになりました。ご家庭でも1年間の頑張りをたくさん褒めてあげて下さい。来年度も引き続きよろしくお願ひ致します。



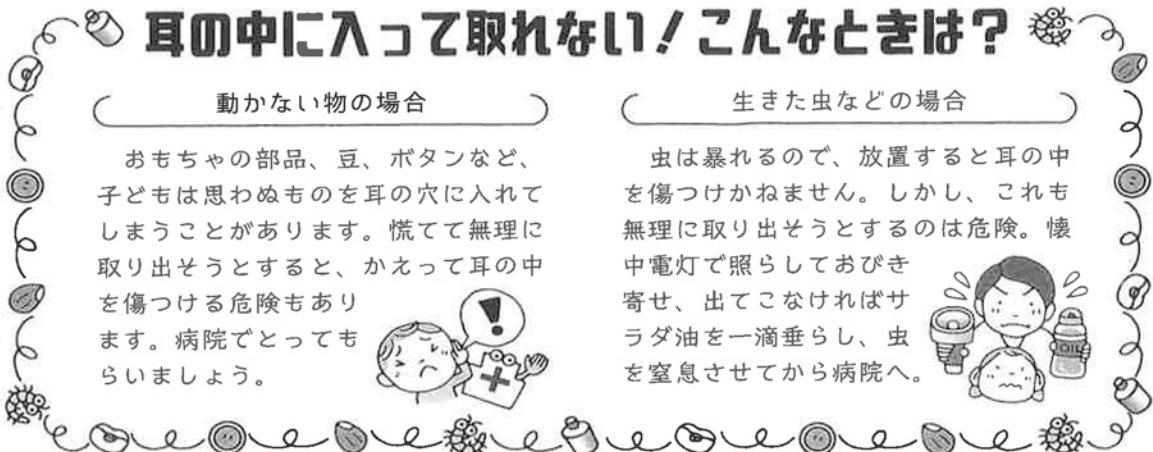
感染症情報

特に流行した病気はありませんでした



※1月のほぼ1ヶ月間だらだらと小流行が続いた感染性胃腸炎もようやく落ち着き、みんな美味しい食事をしっかり食べられるようになりました。東京都の報告数も先週から減少傾向に転じています。

※新型コロナウイルス感染症の流行は、ようやく峠を越えた様相を見せていましたが、まだまだ感染者が非常に多い状況はしばらく続くものと思われます。子どもの感染者の増加の報道が良く出ていますが、新型コロナウイルス感染症は子どもの間で自然発生的に広がるものではなく、まず大人が家庭内に持ち込み、そこで家庭内感染した子どもが登園・登校する事で、子ども間に広がるものです。それを防ぐ為にも、保護者の方も十分に体調に気を付けていただき、送迎される方だけでなく、家庭内で体調不良の方がいらっしゃる場合には、登園前に必ずご相談をいただきますようお願い致します。また、お迎え後は速やかな降園にご協力いただきますよう合わせてお願い致します。



～新型コロナウイルス関連のニュースについて～

5歳～11歳の子どもへの新型コロナワクチン接種が日本でも承認され、3月から開始される予定です。特に基礎疾患のある子どもは新型コロナに感染すると重症化する場合があり、接種による重症化予防効果が期待されます。また、健康な子どもについても、自分自身が免疫を持つことが周囲の人を守ることにつながり、大勢の人がワクチンを受けることにより、流行を抑える事につながるといわれています。ですが、なにより、子どもを新型コロナウイルス感染症から守る為には、周囲の大人へのワクチン接種が重要となります。まずは、保護者の方等の3回目接種を優先していきましょう。

また厚生労働大臣より「発育状況等からマスクの着用が無理なく可能と判断される子どもについては、可能な範囲で子どもや保護者の意図に反して無理強いすることのないように留意して、一時的にマスクの着用を推奨する」との言及がありました。園としては、5歳児(みどり組)につきましては、就学に向けて終日マスクの着用を開始し、3・4歳児につきましては、原則保護者の判断に任せる、という形にさせていただきます。但し、いずれの年齢におきましても、外遊び・午睡時は原則マスクを外させていただきます。外したマスクは、カバンの中にしまいますので、保管用の袋(ジップロック等)と替えのマスクのご用意をお願い致します。また、マスクには必ず名前の記載を忘れずに幼児クラスにつきましては、咳が出ている場合には、こちらの判断にてマスクを着用させていただく事があります。(朝から咳が目立つ場合には、マスク着用での登園にご協力くださいますようお願い致します。)